

平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典 (4案件：病棟建設，灌漑施設改修，農協支援，インフラ整備)

2016年12月16日（金），4件の平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件に関する署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では，堀之内秀久大使と被供与団体4団体（バンテアイミアンチェイ州保健局，コンポンチャム州水資源気象局，ストゥントレン州農林水産局，パイリン州公共事業運輸局）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。

バンテアイミアンチェイ州保健局が実施する案件では，同州プノム・スロックレファラル病院に産科・小児科病棟を建設します。これにより，同病院の産科，小児科及び内科がそれぞれ独自の病室を確保することが可能になり，院内感染のリスクが軽減されるほか，病室不足のため他地域の病院への入院や自宅での療養を強いられていた患者が，同病院で入院治療を受けることが可能になるなど，同病院の年間入院患者約1,900名，妊産婦約360名及びその新生児が，より良い公的医療サービスを利用することが可能となることが期待されています。



コンポンチャム州水資源気象局が実施する案件では，ヴィアル・スダウ灌漑施設の通水機能の改善のために堤体（約480m）と水門（2基）を改修し，アクセス道路（約1,450m）とカルバート4基を整備します。これにより，対象地域内2村の約850世帯が農業用水を安定的に利用できるようになり，灌漑受益地が拡大し，農業生産が増加するとともに，施設の維持管理が容易になることが期待されています。

ストゥントレン州農林水産局が実施する案件では，同州内3農協において，農業生産性と農産物の品質向上を図るため，農作物や資機材の保管等に用いる農協センターを建設するとともに，米の乾燥機や脱穀機，脱豆機等の農業機材を整備します。これにより，3農協の組合員と周辺農家約800人の作業効率が向上し，農産物の品質管理が容易になり，農家の生計が向上することが期待されます。



パイリン州公共事業運輸局が実施する案件では、パイリン市オータワオ地区パン・ロリム村において、現在洪水等の影響により通行が困難になっている農道の2箇所トリプルセル・カルバートを設置します。これにより、洪水による影響が低減され、同地区の約4,300名の住民が年間を通じて安全に市場、学校及び病院へアクセスすることができるようになることが期待されます。また、農作物の輸送活性化による貧困削減等の効果が期待されます。



式典では、堀之内大使がスピーチを行い、被供与団体と地域住民によって、各施設や供与品が適切に維持管理され、今回の支援が末永くカンボジアの草の根レベルの人々に直接役立つとともに、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、地域住民の手によってこれらの施設や供与品を適切に維持していくことを約束しました。

